

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

2017年度 第3四半期決算

2018年2月14日

株式会社 **東芝**

代表執行役専務

平田 政善

注意事項

- この資料には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- 当社グループはグローバル企業として市場環境等が異なる国や地域で広く事業活動を行っているため、実際の業績は、これに起因する多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）により、当社の予測とは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て連結ベースの9ヶ月累計です。
- 注記が無い限り、セグメント情報における業績を、現組織ベースに組み替えて表示しています。
- メモリ事業およびウェスチングハウス社グループに係る経営成績は、米国会計基準に基づき、連結損益計算書上非継続事業として取り扱われるため、注記が無い限り、売上高、営業損益、税引前損益には含まれておらず、過年度の数値を組み替えて表示しています。



1. 全社業績

メモリ事業の非継続化およびGC注記について

- ウエスタンデジタル社との和解や、独禁法の承認手続の進捗状況を踏まえ、メモリ事業の売却完了の確実性が高まったことにより、米国会計基準に則り、第3四半期よりメモリ事業を非継続事業に組み替える。
 - **売上高、営業損益、税引前損益からメモリ事業を除外**
メモリ事業の税引後損益を「非継続事業当期純損益」に計上
- 現時点において、継続企業的前提に重要な疑義を生じさせる状況は解消
 - ✓ 以下の3点により、**2018年2月14日時点では資金繰りの懸念および債務超過が解消されていると見込んでいる**
 - ① メモリ事業の売却が1年以内に完了する確実性が高まった
 - ② 6,000億円の第三者割当増資の実施
 - ③ WECに対する債権の第三者への売却が完了
 - ✓ 各分社会社において、建設業法に基づく**特定建設業の許可等を取
得済み**である

※ WECに対する債権の売却完了は2018年1月22日（米国東部時間）であるが、第3四半期決算における継続企業的前提に関する注記（GC注記）には反映される。なお売却益と売却に伴う税額への影響額は、第4四半期に計上される。

全社

単位：億円

	16/1-3Q	17/1-3Q	差
売上高	28,354	28,003	▲351
営業損益 %	761 2.7%	496 1.8%	▲265 ▲0.9%
営業外損益	▲118	383	501
税引前損益 %	643 2.3%	879 3.1%	236 0.8%
税金費用	▲476	▲17	459
非支配持分控除前 継続事業当期純損益	167	862	695
非支配持分控除前 非継続事業当期純損益	▲6,446	▲273	6,173
非支配持分帰属損益	954	▲319	▲1,273
当期純損益 %	▲5,325 ▲18.8%	270 1.0%	5,595 19.8%
1株当たり 当期純損益	▲¥125.77	¥6.06	¥131.83
フリー・キャッシュ・フロー	▲547	▲4,462	▲3,915

今回のポイント

● [売上高]

エネルギーシステムソリューションは、ランディス・ギア社がIPO※により連結除外となった影響で減収。インフラシステムソリューションも減収、ストレージ&デバイスソリューションは増収となり、全体では1.2%の減収。為替による全社の影響額は+570億円（メモリ除く）。

※IPO: Initial Public Offering（証券取引所への株式上場）

● [損益]

営業損益496億円に加え、第2四半期に計上したランディス・ギア社の株式売却益668億円を主因として営業外損益が383億円となったことから、税引前損益は879億円となった。また繰延税金資産の一部を再計上したことから、継続事業の税金費用は17億円となり、継続事業当期純損益は862億円となった。

非継続事業当期純損益は、メモリが営業利益率37%に相当する利益を達成した一方、会社分割に伴う税額影響を反映し、▲273億円となった。

● [キャッシュ・フロー]

営業キャッシュ・フローはWEC親会社保証支払4,368億円と財務体質悪化に伴う信用力低下を起因とした運転資金の悪化により、3,837億円のマイナス、投資キャッシュ・フローはメモリへの投資がある一方、ランディス・ギア社の株式売却収入があり、625億円のマイナス。フリー・キャッシュ・フローは4,462億円のマイナスとなった。

単位：億円

	17/3末	17/12末	差
株主資本	▲5,529	▲39	5,490
株主資本比率	▲13.0%	▲0.1%	12.9%
純資産	▲2,757	2,209	4,966
Net有利子負債	6,829	4,840	▲1,989
Net D/E レシオ	-	-	-
期末日為替レート(米ドル)	¥112	¥113	¥1

● [財務体質]

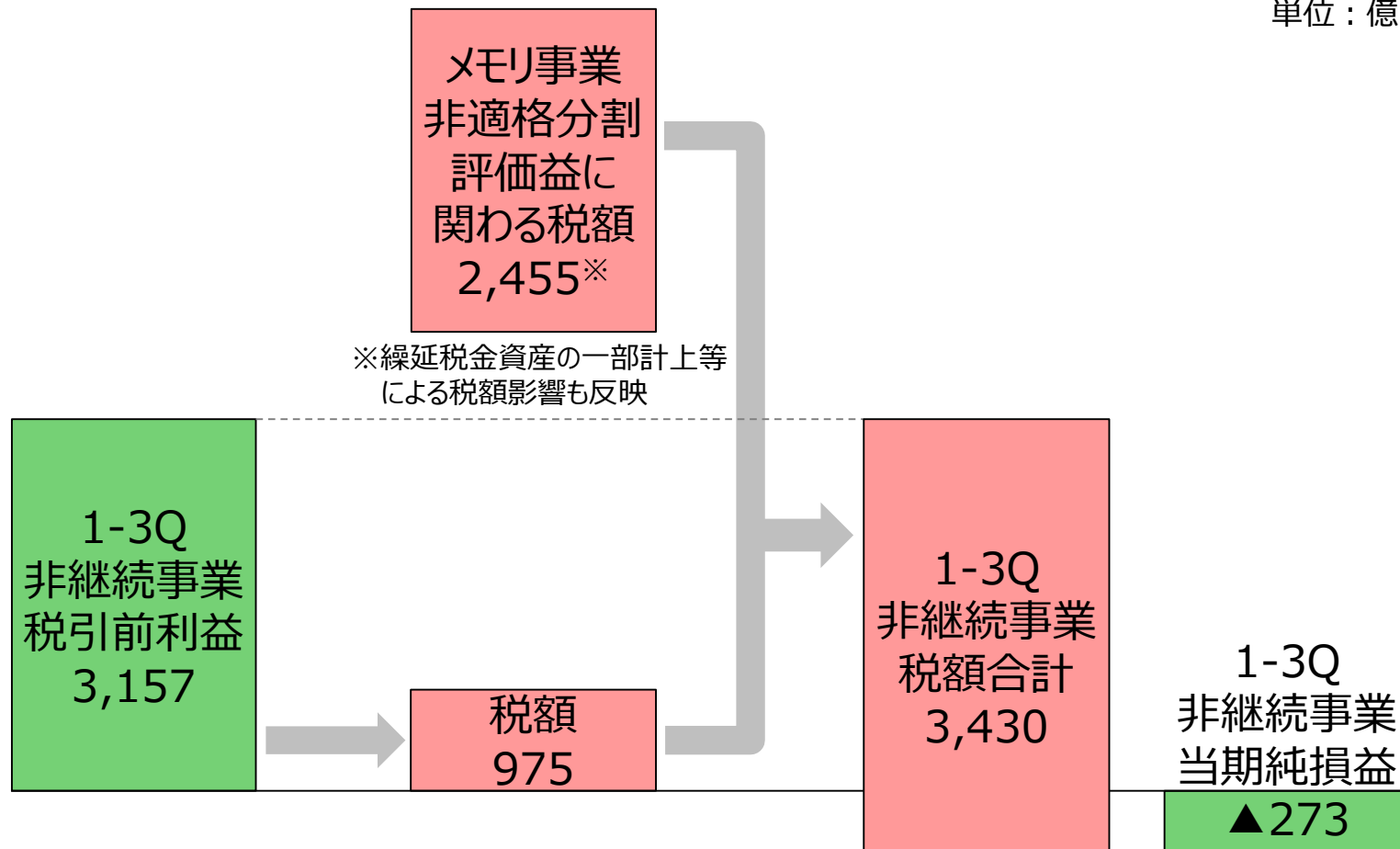
株主資本は、第三者割当増資6,000億円と当期純損益による増加、およびカザトムプロム社によるWEC株式のプットオプション行使による減少▲495億円※があった結果、前年度末から5,490億円改善し、▲39億円となった。非支配持分を含めた純資産は2,209億円となった。

※ 資本直入の影響額のみ。この他に非継続事業損益として▲152億円が計上されている。

メモリ事業 非適格会社分割に伴う税額影響

- 非継続化に伴い、税額影響の計算方法が変更となり、第3四半期において非適格分割に伴う税額を全額認識

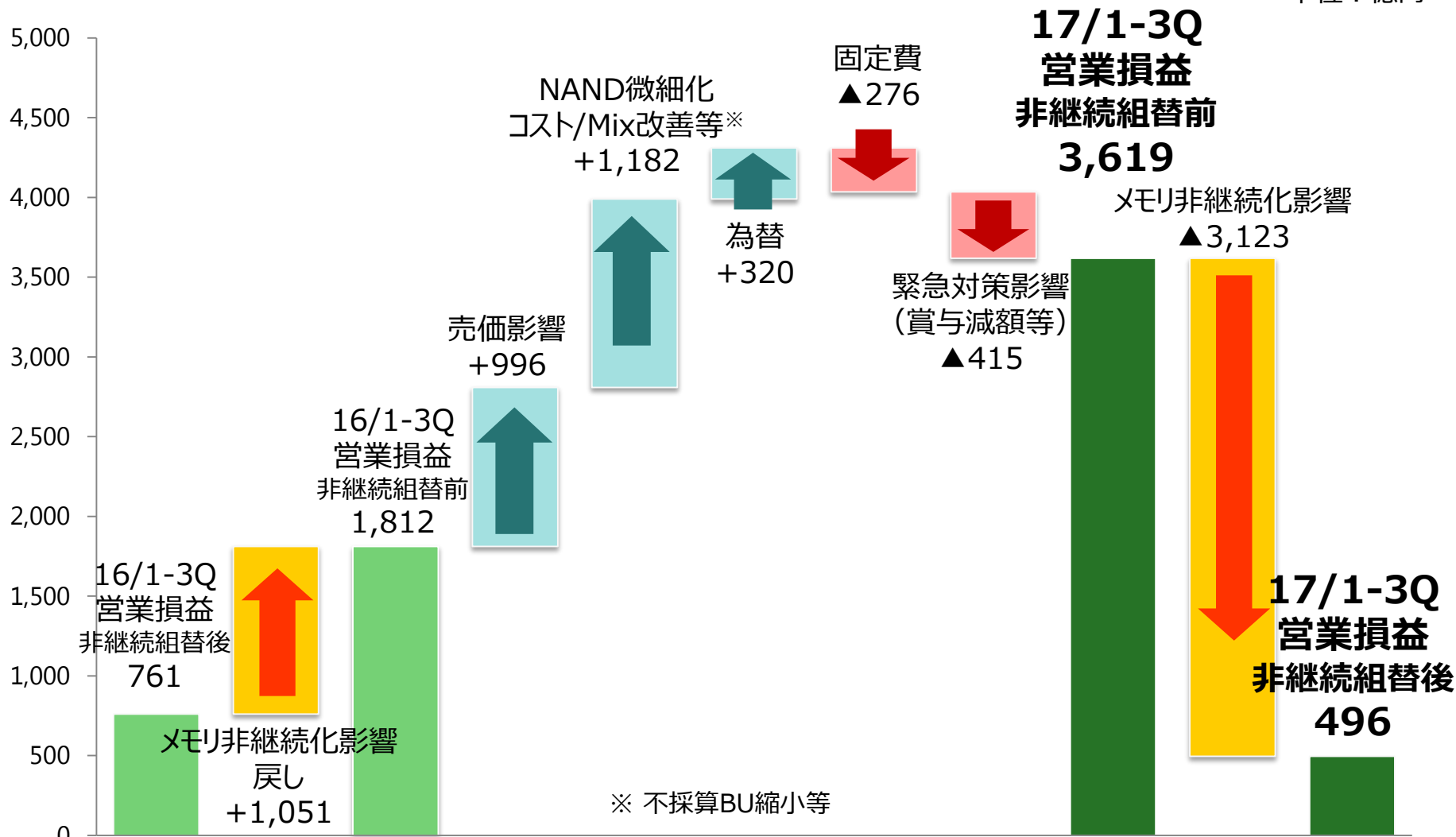
単位：億円



営業損益（対前年同期分析）

非継続組替前では、メモリの売価・物量・コスト低減による効果で大幅増益

単位：億円



※ 不採算BU縮小等

営業外損益

ランディス・ギア社の株式売却益を主因に改善

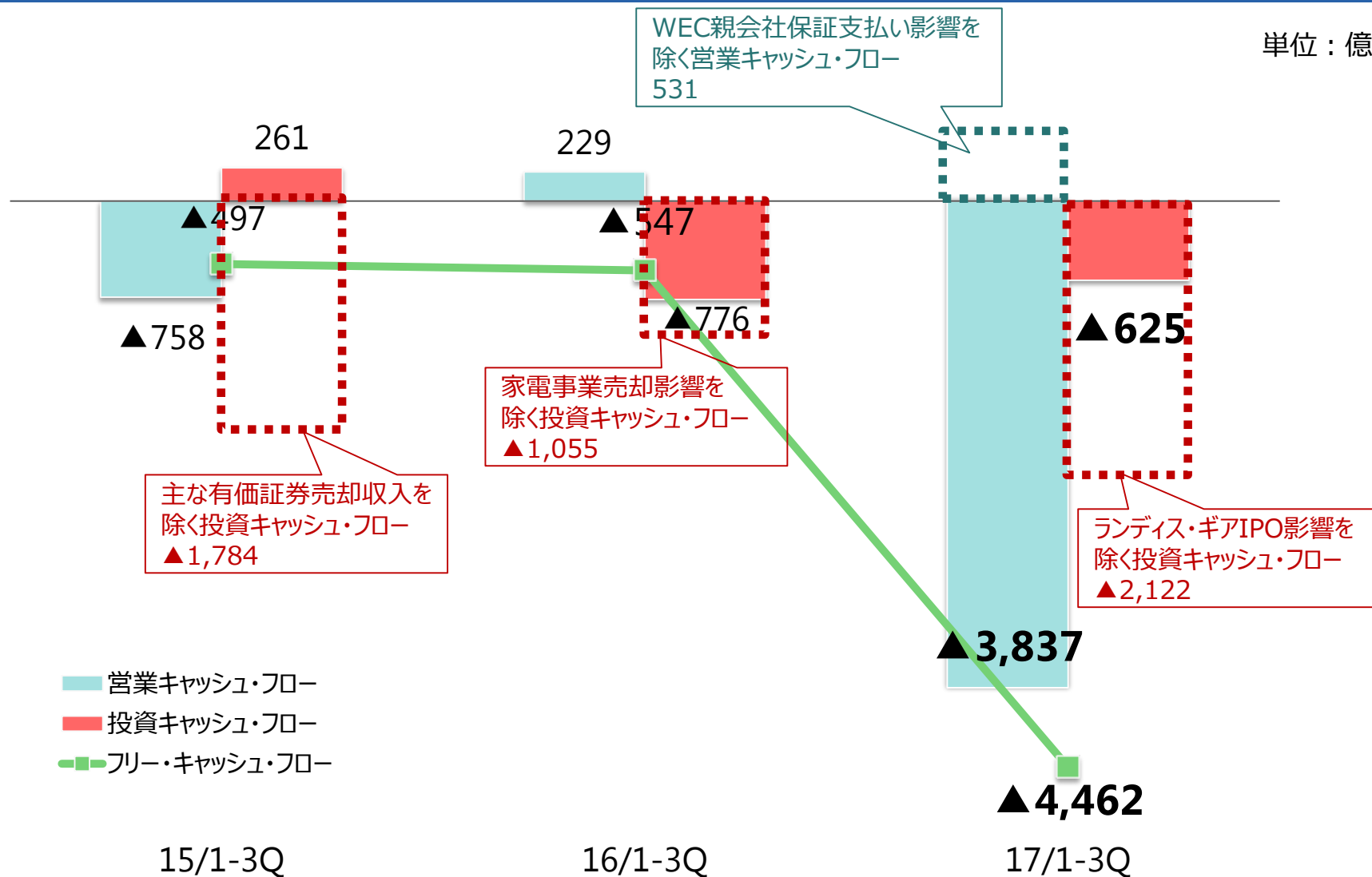
単位：億円

	16/1-3Q	17/1-3Q	差	17/3Qの主な案件
金融収支	▲71	▲158	▲87	－
為替差損益	▲18	▲15	3	－
固定資産売却損益	156	147	▲9	－
有価証券売却損益	40	692	652	－
訴訟和解費用	▲196	▲73	123	－
その他	▲29	▲210	▲181	－
合計	▲118	383	501	

フリー・キャッシュ・フロー

WEC親会社保証の支払により、営業キャッシュ・フローはマイナス

単位：億円



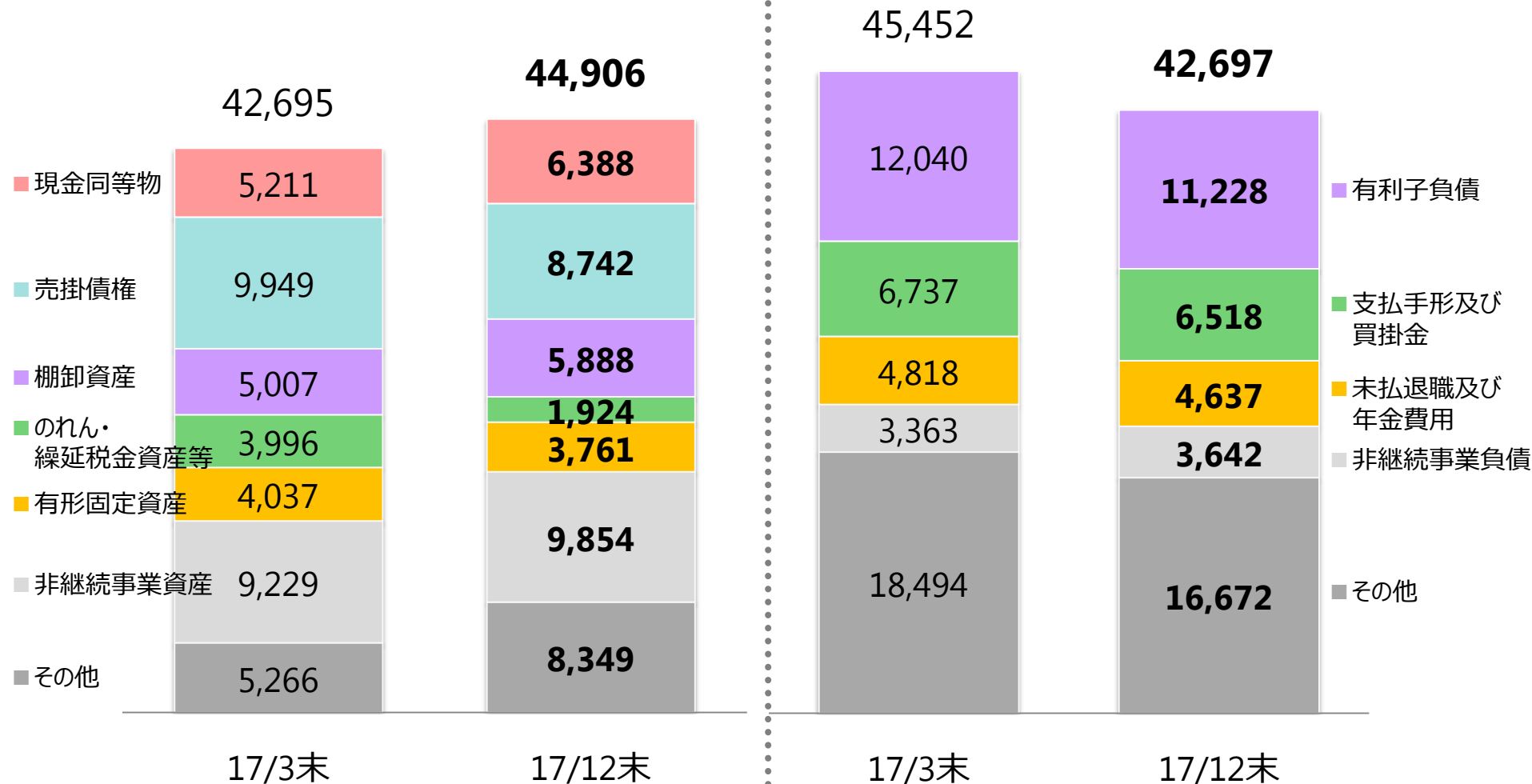
貸借対照表

増資による入金の一部を親会社保証の早期弁済に充当

資産

負債

単位：億円





2. セグメント別業績

空白ページ

セグメント別 メモリ非継続組替後

単位：億円

		16/1-3Q	17/1-3Q	差 (伸長率)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	6,600	6,115	▲485 (▲7%)
	営業損益	▲24	▲121	▲97
	ROS	▲0.4%	▲2.0%	▲1.6%
インフラシステム ソリューション	売上高	8,385	8,306	▲79 (▲1%)
	営業損益	215	113	▲102
	ROS	2.6%	1.4%	▲1.2%
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	3,718	3,793	75 (+2%)
	営業損益	111	188	77
	ROS	3.0%	4.9%	1.9%
ストレージ&デバイス ソリューション	売上高	6,304	6,610	306 (+5%)
	営業損益	493	489	▲4
	ROS	7.8%	7.4%	▲0.4%
インダストリアルICT ソリューション	売上高	1,625	1,769	144 (+9%)
	営業損益	44	▲26	▲70
	ROS	2.7%	▲1.5%	▲4.2%
その他	売上高	3,931	3,794	▲137 (▲3%)
	営業損益	▲91	▲186	▲95
消去	売上高	▲2,209	▲2,384	▲175
	営業損益	13	39	26
非継続事業控除後 合計	売上高	28,354	28,003	▲351 (▲1%)
	営業損益	761	496	▲265
	ROS	2.7%	1.8%	▲0.9%

セグメント別 メモリ非継続組替前

単位：億円

		16/1-3Q	17/1-3Q	差 (伸長率)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	6,600	6,115	▲485 (▲7%)
	営業損益	▲24	▲121	▲97
	ROS	▲0.4%	▲2.0%	▲1.6%
インフラシステム ソリューション	売上高	8,385	8,306	▲79 (▲1%)
	営業損益	215	113	▲102
	ROS	2.6%	1.4%	▲1.2%
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	3,718	3,793	75 (+2%)
	営業損益	111	188	77
	ROS	3.0%	4.9%	1.9%
ストレージ&デバイス ※ ソリューション	売上高	12,423	14,895	2,472 (+20%)
	営業損益	1,546	3,680	2,134
	ROS	12.4%	24.7%	12.3%
インダストリアルICT ソリューション	売上高	1,625	1,769	144 (+9%)
	営業損益	44	▲26	▲70
	ROS	2.7%	▲1.5%	▲4.2%
その他	売上高	3,931	3,794	▲137 (▲3%)
	営業損益	▲91	▲186	▲95
消去	売上高	▲2,468	▲2,849	▲381
	営業損益	11	▲29	▲40
非継続事業控除前 合計	売上高	34,214	35,823	1,609 (+5%)
	営業損益	1,812	3,619	1,807
	ROS	5.3%	10.1%	4.8%

※メモリ事業に係る経営成績は、連結損益計算書上非継続事業として取り扱われます。
左表のセグメント別売上高、営業損益については、参考のため、メモリ事業を非継続化する前の状態を表示しています。

エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位：億円

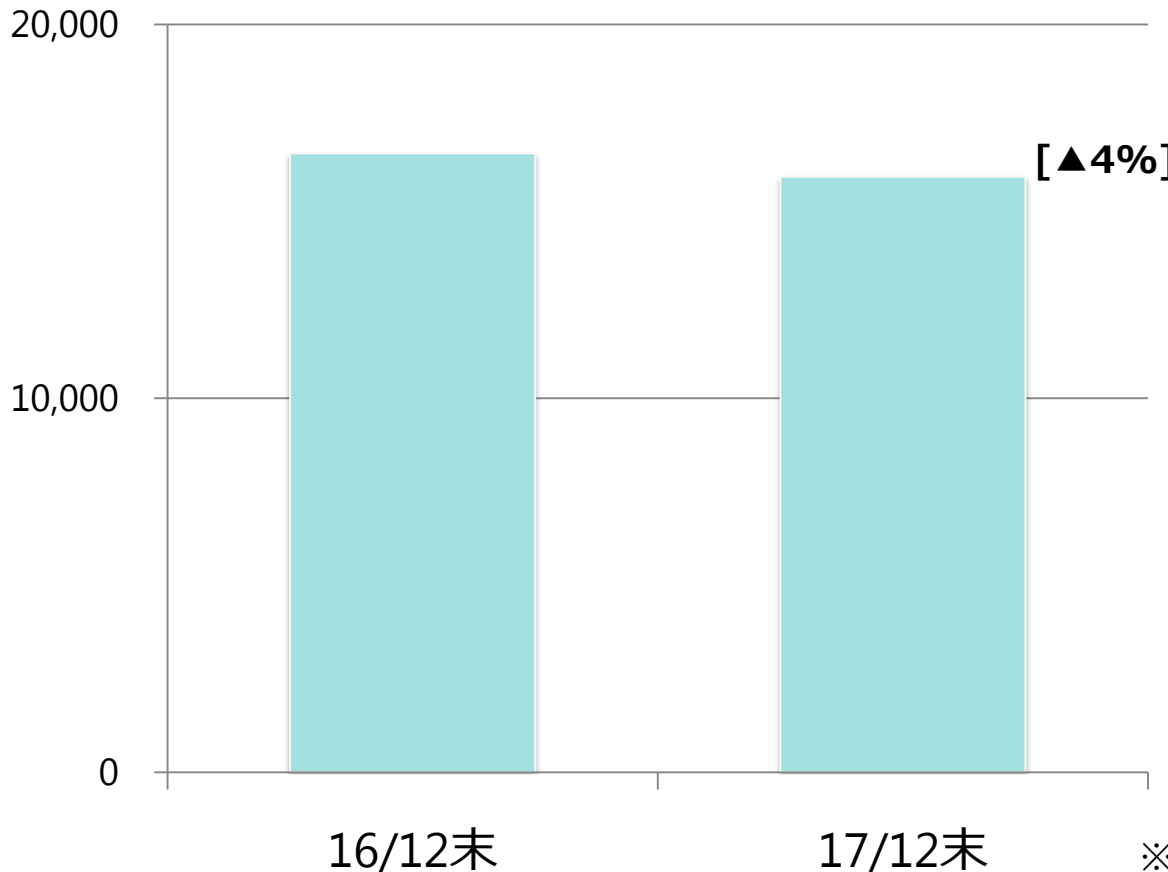
		16/1-3Q	17/1-3Q	差	(伸長率)	
エネルギーシステム ソリューション	売上高	6,600	6,115	▲485	(▲7%)	為替影響 +171
	営業損益	▲24	▲121	▲97		為替影響 ▲1
	ROS	▲0.4%	▲2.0%	▲1.6%		緊急対策 ▲67
	セグメント別FCF		▲4,878			
原子力	売上高	992	917	▲75	(▲8%)	国内規模減および一部案件の採算の悪化により減収減益。
	営業損益	▲48	▲89	▲41		
	ROS	▲4.8%	▲9.7%	▲4.9%		
火力・水力	売上高	2,418	2,637	219	(+9%)	国内プラント案件を中心に、工事進行基準案件の工程進捗により増収、建設案件の追加コストの引当等により減益。
	営業損益	46	▲3	▲49		
	ROS	1.9%	▲0.1%	▲2.0%		
送変電・配電等	売上高	2,061	2,073	12	(+1%)	送変電事業は国内工事進行基準案件の工程進捗により増収増益。
	営業損益	▲5	12	17		
	ROS	▲0.2%	0.6%	0.8%		
ランディス・ギア	売上高	1,294	658	▲636		IPO実施による連結除外以前の金額のみ含む。
	営業損益	65	34	▲31		
その他	売上高	▲165	▲170	▲5		セグメント内消去の他、水素関連事業の開発費等を含む。
	営業損益	▲82	▲75	7		

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

エネルギーシステムソリューション 受注残高推移

単位：億円
[対16/12末]

※発電システムおよび送変電・配電システム
(太陽光発電、ランディス・ギアを除く)



- 原子力は再稼働対応等を中心受注し、残高は微増。
- 火力・水力は海外大型案件の受注があるものの建設案件の売上等により残高は減少。
- 送変電・配電等は、海外案件の受注が想定より遅れていること等により残高は微減。

※ ウェスチングハウス社グループの数値は過去に遡って除外しています

インフラシステムソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		16/1-3Q	17/1-3Q	差	(伸長率)	
インフラシステム ソリューション	売上高	8,385	8,306	▲79	(▲1%)	為替影響 +91
	営業損益	215	113	▲102		為替影響 ±0
	ROS	2.6%	1.4%	▲1.2%		緊急対策 ▲130
セグメント別FCF			130			
公共インフラ	売上高	2,378	2,232	▲146	(▲6%)	受注物件の減少により減収。営業損益は減収と緊急対策の規模縮小により減益。
	営業損益	18	▲9	▲27		
	ROS	0.8%	▲0.4%	▲1.2%		
ビル・施設	売上高	4,142	4,002	▲140	(▲3%)	受注物件の減少により減収。営業損益は減収と緊急対策の規模縮小により減益。
	営業損益	200	112	▲88		
	ROS	4.8%	2.8%	▲2.0%		
産業システム	売上高	2,174	2,362	188	(+9%)	産業用コンポーネントの規模増により増収増益。
	営業損益	▲3	10	13		
	ROS	▲0.1%	0.4%	0.5%		

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

ストレージ&デバイスソリューション 主要事業内訳 (メモリ非継続組替前)

単位：億円

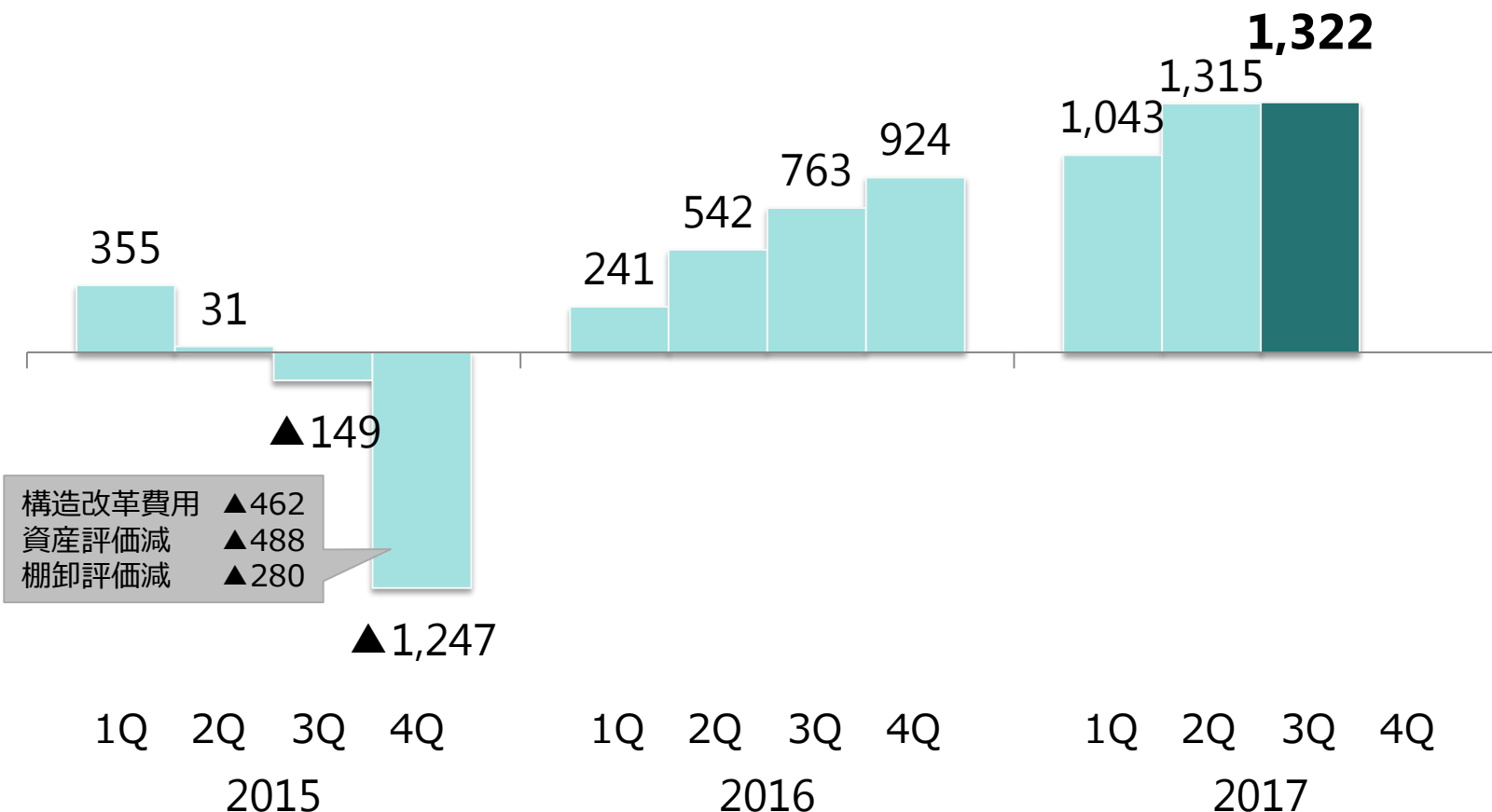
		16/1-3Q	17/1-3Q	差	(伸長率)		
ストレージ&デバイス ソリューション	売上高	12,423	14,895	2,472	(+20%)	為替影響 +518	
	営業損益	1,546	3,680	2,134		為替影響 +313	
	ROS	12.4%	24.7%	12.3%		緊急対策 ▲97	
セグメント別FCF			1,593				
ストレージ	メモリ	売上高	6,351	8,756	2,405	(+38%)	旺盛なスマホやSSD需要により売価は安定的に推移、売上高・損益ともに対前年上振れ。
		営業損益	1,022	3,227	2,205		
		ROS	16.1%	36.9%	20.8%		
	HDD	売上高	3,458	3,371	▲87	(▲3%)	エンタープライズ向けは伸長するも、PC市場の縮小により全体では減収・減益。
		営業損益	272	203	▲69		
		ROS	7.9%	6.0%	▲1.9%		
デバイス他	売上高	2,614	2,768	154	(+6%)	産業向け等が好調なディスクリットが増収・増益となるも、システムLSIが減益となり、全体では増収・利益横ばい。	
	営業損益	252	250	▲2			
	ROS	9.6%	9.0%	▲0.6%			

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

ストレージ&デバイスソリューション 四半期別営業損益トレンド (メモリ非継続組替前)

対17/2Q：メモリが好調を維持し、引き続き増益

単位：億円



※15年度については、(旧) セミコンダクター & ストレージ社の数値を表示しており、かつセグメント別営業損益の算定方法変更前の数値で表示しています。

リテール&プリンティングソリューション インダストリアルICTソリューション

単位：億円

		16/1-3Q	17/1-3Q	差	(伸長率)	
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	3,718	3,793	75	(+2%)	為替影響 +110
	営業損益	111	188	77		為替影響 +8
	ROS	3.0%	4.9%	1.9%		緊急対策 ▲9
セグメント別FCF			92			

- ・リテール事業、プリンティング事業とも堅調に推移。為替の影響もあり増収。
- ・リテール事業、プリンティング事業とも大幅な増益。

		16/1-3Q	17/1-3Q	差	(伸長率)	
インダストリアルICT ソリューション	売上高	1,625	1,769	144	(+9%)	為替影響 ±0
	営業損益	44	▲26	▲70		為替影響 ±0
	ROS	2.7%	▲1.5%	▲4.2%		緊急対策 ▲67
セグメント別FCF			46			

- ・官公庁向けシステム案件、製造業向けシステム案件およびIoT/AIビジネスの好調により増収。
- ・一部国内向け情報システム案件の影響、構内通信システム事業の構造改革および緊急対策の規模縮小により減益。

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

その他

単位：億円

		16/1-3Q	17/1-3Q	差	(伸長率)	
PC	売上高	1,405	1,196	▲209	(▲15%)	海外B2C完全撤退や国内B2Cおよび欧米販売低調などにより減収。減収に加えて、SSDなどの一部部材コストの上昇もあり損益悪化。
	営業損益	0	▲66	▲66		
	ROS	0.0%	▲5.5%	▲5.5%		
映像	売上高	463	365	▲98	(▲21%)	国内B2C販売規模減により減収。損益は品質対応費用を引き当てた前年同期から改善。
	営業損益	▲89	▲64	25		
	ROS	▲19.2%	▲17.5%	1.7%		



3. 2017年度業績予想

全社

※メモリ非継続組替前

【営業損益※】 メモリは増益、原子力と火力・水力は悪化、全体では前回予想から増益の見通し。

【営業外損益※】 映像事業の売却益計上と、WEC親会社保証の一括弁済によって前回予想に織り込んでいた為替変動リスクを回避したことにより、前回予想から500億円増益の見通し。

【当期純損益】 WECに対する債権の第三者への売却（売却益は非継続事業当期純損益に計上）と、それに伴う税額の減少により、前回予想から6,300億円改善の見通し。

→ 増資による株主資本強化も含め、**2018年3月末の株主資本はプラスとなる見通し。**

	前回予想 (11/9公表) メモリ非継続組替前	17年度 今回業績予想 (2/14公表) メモリ非継続組替前	差	メモリ非継続組替 による影響	17年度 今回業績予想 (2/14公表) メモリ非継続組替後
売上高	49,700	49,900	200	▲10,900	39,000
営業損益	4,300	4,400	100	▲4,400	0
税引前損益	4,000	4,600	600	▲4,400	200
当期純損益	▲1,100	5,200	6,300	0	5,200
フリー・キャッシュ・フロー	▲3,800	▲5,500	▲1,700	0	▲5,500

単位：億円

	前回予想 (11/9公表)		18/3末 見通し	差
株主資本	▲7,500		4,600	12,100
株主資本比率	▲19.2%		11.2%	30.4%
純資産	▲5,300		6,900	12,200
Net 有利子負債	9,400		6,000	▲3,400
期末日為替レート(米ドル)	¥110		¥110	¥0

株主資本見通し 対前回予想

単位：億円

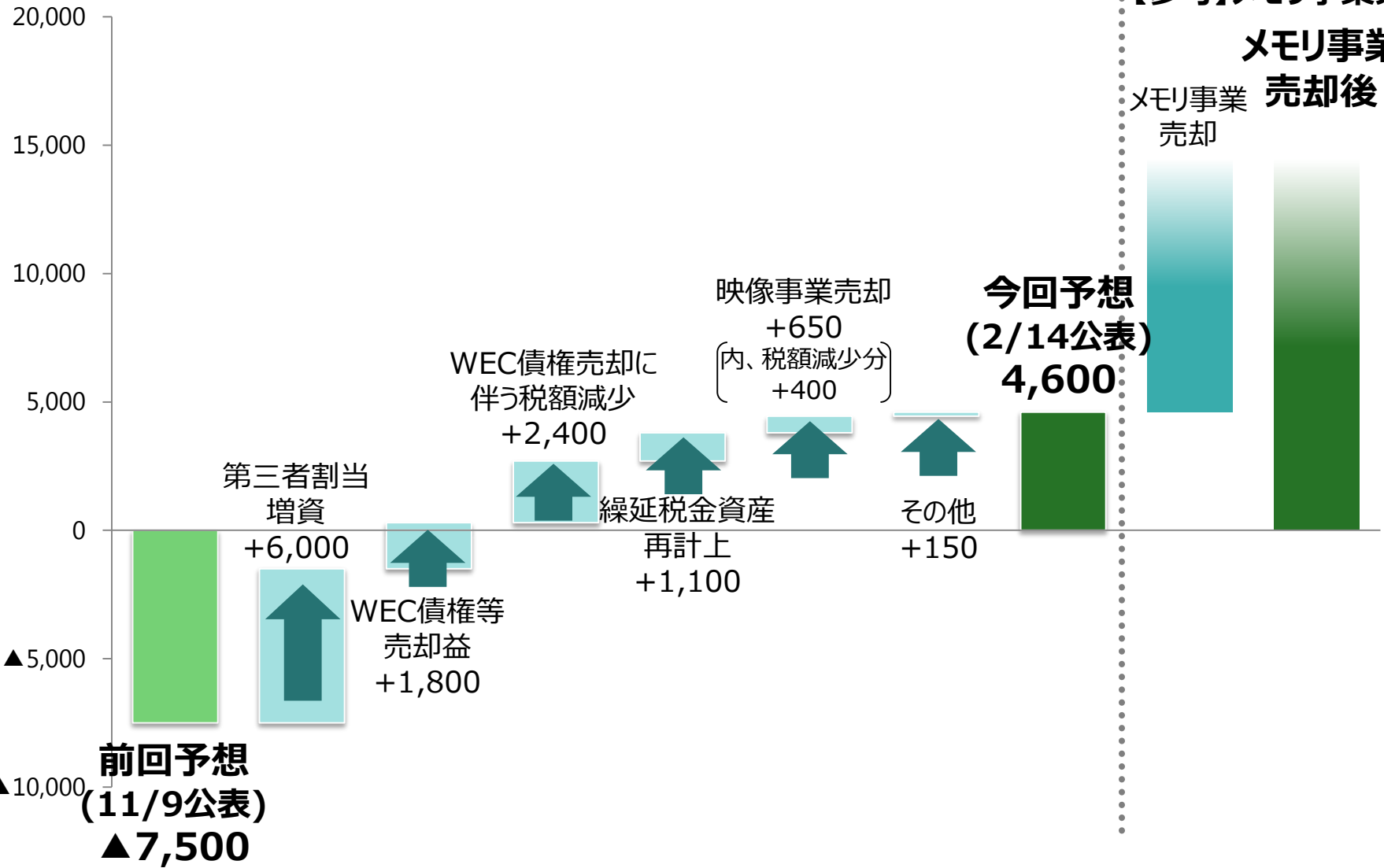
【参考】メモリ事業売却後

メモリ事業

売却後

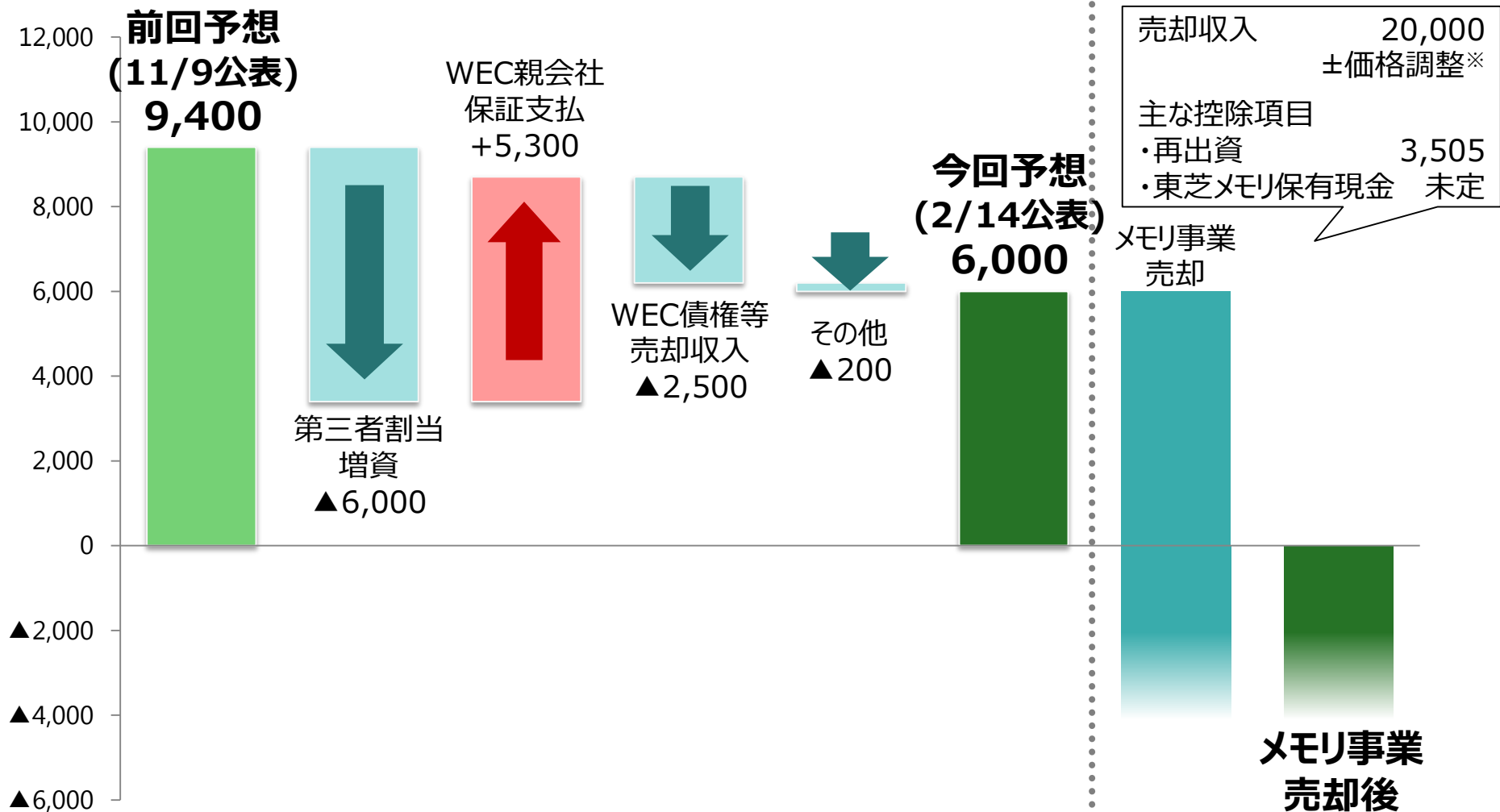
メモリ事業
売却

今回予想
(2/14公表)
4,600



Net有利子負債見通し 対前回予想

単位：億円



※ 純負債額、運転資本額、累積設備投資額による調整

セグメント別 メモリ非継続組替後

単位：億円

		16年度 実績	17年度 今回業績予想 (2/14公表)	差 (伸長率)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	9,749	8,400	▲1,349 (▲14%)
	営業損益	▲417	▲50	367
	ROS	▲4.3%	▲0.6%	3.7%
インフラシステム ソリューション	売上高	12,624	12,600	▲24 (▲0%)
	営業損益	584	420	▲164
	ROS	4.6%	3.3%	▲1.3%
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	5,077	5,100	23 (+0%)
	営業損益	163	220	57
	ROS	3.2%	4.3%	1.1%
ストレージ&デバイス ソリューション	売上高	8,371	8,500	129 (+2%)
	営業損益	576	450	▲126
	ROS	6.9%	5.3%	▲1.6%
インダストリアルICT ソリューション	売上高	2,396	2,500	104 (+4%)
	営業損益	71	30	▲41
	ROS	2.9%	1.2%	▲1.7%
その他	売上高	5,356	5,100	▲256 (▲5%)
	営業損益	▲171	▲400	▲229
消去	売上高	▲3,136	▲3,200	▲64
	営業損益	14	※ ▲670	▲684
非継続事業控除後 合計	売上高	40,437	39,000	▲1,437 (▲4%)
	営業損益	820	0	▲820
	ROS	2.0%	0.0%	▲2.0%

※ 構造改革費用
600億円を含む

※ 16年度実績の非継続組替については監査前の暫定値であり、今後変更となる可能性があります。
数値が確定しましたら別途公表いたします。

セグメント別 メモリ非継続組替前

		16年度 実績	17年度 今回業績予想 (2/14公表)	差 (伸長率)	対前回予想 (11/9公表)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	9,749	8,400	▲1,349 (▲14%)	0
	営業損益	▲417	▲50	367	▲100
	ROS	▲4.3%	▲0.6%	3.7%	▲1.2%
インフラシステム ソリューション	売上高	12,624	12,600	▲24 (▲0%)	0
	営業損益	584	420	▲164	0
	ROS	4.6%	3.3%	▲1.3%	0.0%
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	5,077	5,100	23 (+0%)	0
	営業損益	163	220	57	0
	ROS	3.2%	4.3%	1.1%	0.0%
ストレージ&デバイス ※1 ソリューション	売上高	17,002	20,100	3,098 (+18%)	300
	営業損益	2,470	4,900	2,430	300
	ROS	14.5%	24.4%	9.9%	1.2%
インダストリアルICT ソリューション	売上高	2,396	2,500	104 (+4%)	0
	営業損益	71	30	▲41	0
	ROS	2.9%	1.2%	▲1.7%	0.0%
その他	売上高	5,356	5,100	▲256 (▲5%)	▲100
	営業損益	▲171	▲400	▲229	▲100
消去	売上高	▲3,496	▲3,900	▲404	0
	営業損益	8	※2 ▲720	▲728	0
非継続事業控除前 合計	売上高	48,708	49,900	1,192 (+2%)	200
	営業損益	2,708	4,400	1,692	100
	ROS	5.6%	8.8%	3.2%	0.1%

単位：億円

※1: メモリ事業に係る経営成績は、連結損益計算書上非継続事業として取り扱われます。
左表のセグメント別売上高、営業損益については、参考のため、メモリ事業を非継続化する前の状態を表示しています。

※2: 構造改革費用
600億円を含む



Appendix

設備投資（発注ベース）

単位：億円

設備投資（発注ベース）	16年度 実績	17年度 見通し	対前回見通し (11/9公表)	17/1-3Q 実績	17/3Q 実績	17/3Qの主な案件
エネルギーシステム ソリューション	144	130	0	47	9	-
インフラシステム ソリューション	266	400	0	191	33	-
リテール&プリンティング ソリューション	70	100	0	63	15	-
ストレージ&デバイス ソリューション	92	200	※▲5,800	182	66	-
インダストリアルICT ソリューション	22	20	0	9	2	-
その他	111	150	0	80	30	-
合計	705	1,000	▲5,800	572	155	
投融資	56	1,000	0			

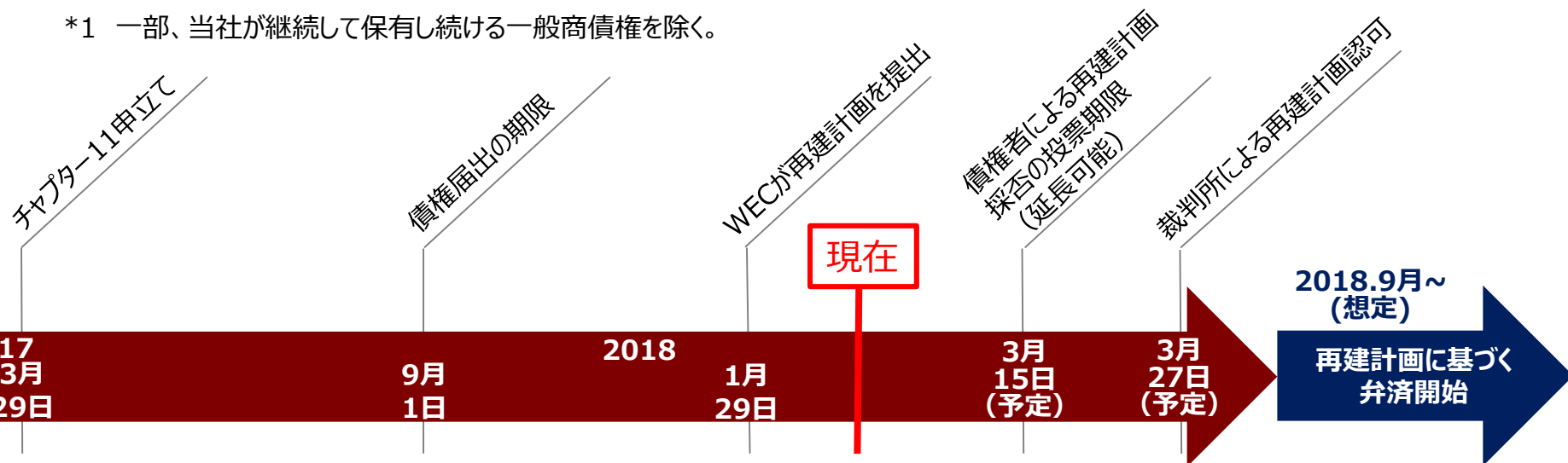
※前回見通し(11/9公表)の数字はメモリ非継続組替前であり、持分法適用会社であるフラッシュフワード合同会社等における当社分の設備投資の額が含まれています。

WECチャプター11スケジュール

● 経営資源配分最適化の観点から、WEC関連資産の譲渡契約を締結

- 債権*1譲渡契約は1月22日に譲渡代金を受領しクローリング済み
- 今後、株式譲渡契約の早期クローリングにより、付随する不確実性の解消を目指す

*1 一部、当社が継続して保有し続ける一般商債権を除く。

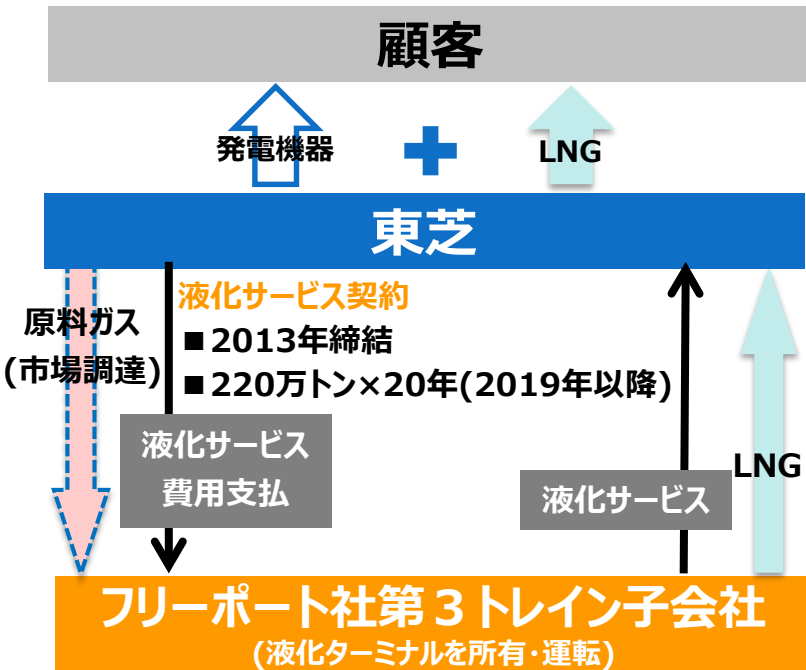


[CH11手続きについての補足]

- 再建計画には、開示説明書において、WECの資産整理等で得られる資金や権利（弁済原資）を各債権者にどのように弁済する予定なのかが記載されている。
- 債権者による投票を経て再建計画が可決され、裁判所による再建計画の認可が下りると、計画に基づき債権者への弁済がなされる。(但し、弁済開始に際する諸条件有り。例：BrookfieldグループによるWEC事業買収が各規制当局より認可されること等)

LNG事業（フリーポート）

液化天然ガス（LNG）の供給開始にむけ供給体制整備・営業活動を継続



販売契約の獲得状況

- 液化役務契約総量220万トン/年について、複数の発効条件付基本合意書（数量、価格、期間等合意）を締結済み
- 上記基本合意書締結済分と合せて、契約総量を超える規模の他商談継続中

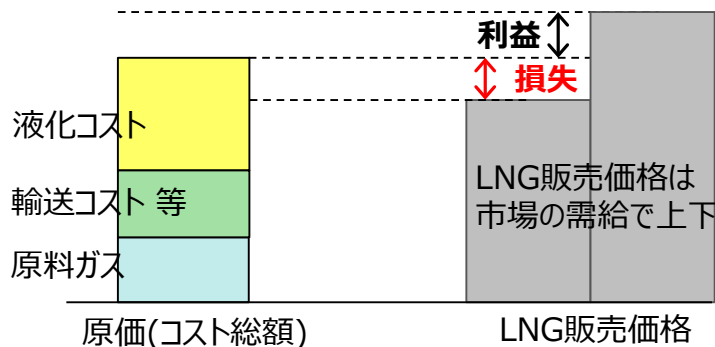
具体的な活動進捗

- 2019年9月からのLNG引渡し開始へ向けた準備として、原料ガス等の調達、LNG供給を担う米国子会社（Toshiba America LNG）を設立（2017年2月）、運営開始（2017年7月）

会計上の取扱い

- 2017年度第3四半期決算においては、契約及び商談進捗状況を踏まえ、特段の会計処理は実施していない
- 傭船手配・仕向け地決定のリードタイムを勘案し、運転開始の1年前からは、LNG販売が未締結の部分があり、かつSpot市場がコストを下回る場合には、先行1年における生じ得る損失相当額の引当計上を継続検討中
- なお、当社の本天然ガス液化役務契約は、資源権益への投資ではないため、減損会計の対象ではない
- 当社は確保するLNGの全量について、主として長期の取引契約を締結する予定。ただし、当社が前提とする価格等の条件でLNGの販売(短期販売を含む)が行えない場合は、一定の損失が発生する可能性があります。

当社損益の考え方



メモリ事業 貸借対照表

- 下記の情報は（株）東芝および東芝メモリ（株）を含む当社連結グループ全体における、メモリ事業に関する資産・負債を表示しています。当社連結B/S上では消去される資産・負債を含んでいることから、当社連結B/S上の非継続事業資産・負債とは一致しません。

資産	17/3末	17/12末	単位：億円
現金及び現金同等物	1,866	194	
受取手形及び売掛金	1,504	2,266	
棚卸資産	1,243	1,463	
短期貸付金	17	※ 3,731	※グループ預け金を含む
有形固定資産	2,548	3,124	
持分法投資勘定	1,494	2,270	
その他の資産	866	1,853	
資産合計	9,538	14,901	
負債	17/3末	17/12末	
短期借入金	12	76	
支払手形及び買掛金	730	869	
未払金及び未払費用	1,604	2,646	
未払法人税等及びその他の未払税金	496	※ 4,304	※非適格分割課税を含む
未払退職及び年金費用	493	495	
その他の負債	325	248	
負債合計	3,660	8,638	

エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		16年度 実績	17年度 業績見通し	差	(伸長率)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	9,749	8,400	▲1,349	(▲14%)
	営業損益	▲417	▲50	367	
	ROS	▲4.3%	▲0.6%	3.7%	
原子力	売上高	1,821	1,618	▲203	(▲11%)
	営業損益	▲451	▲20	431	
	ROS	▲24.8%	▲1.2%	23.6%	
火力・水力	売上高	3,391	3,476	85	(+3%)
	営業損益	39	7	▲32	
	ROS	1.2%	0.2%	▲1.0%	
送変電・配電等	売上高	2,977	2,838	▲139	(▲5%)
	営業損益	27	11	▲16	
	ROS	0.9%	0.4%	▲0.5%	
ランディス・ギア	売上高	1,812	※ 658	▲1,154	
	営業損益	74	34	▲40	
その他	売上高	▲252	▲190	62	
	営業損益	▲106	▲82	24	

※17年度のランディス・ギアはIPO(7/25実施)までの金額のみ含む

インフラシステムソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		16年度 実績	17年度 業績見通し	差	(伸長率)
インフラシステム ソリューション	売上高	12,624	12,600	▲24	(▲0%)
	営業損益	584	420	▲164	
	ROS	4.6%	3.3%	▲1.3%	
公共インフラ	売上高	4,219	3,957	▲262	(▲6%)
	営業損益	288	184	▲104	
	ROS	6.8%	4.6%	▲2.2%	
ビル・施設	売上高	5,706	5,594	▲112	(▲2%)
	営業損益	253	169	▲84	
	ROS	4.4%	3.0%	▲1.4%	
産業システム	売上高	3,099	3,417	318	(+10%)
	営業損益	43	67	24	
	ROS	1.4%	2.0%	0.6%	

ストレージ&デバイスソリューション 主要事業内訳 (メモリ非継続組替前)

単位：億円

		16年度 実績	17年度 業績見通し	差	(伸長率)
ストレージ&デバイス ソリューション		売上高	17,002	20,100	3,098 (+18%)
		営業損益	2,470	4,900	2,430
		ROS	14.5%	24.4%	9.9%
ストレージ	メモリ	売上高	8,972	12,258	3,286 (+37%)
		営業損益	1,866	4,497	2,631
		ROS	20.8%	36.7%	15.9%
	HDD	売上高	4,613	4,386	▲227 (▲5%)
		営業損益	360	230	▲130
		ROS	7.8%	5.2%	▲2.6%
デバイス他		売上高	3,417	3,456	39 (+1%)
		営業損益	244	173	▲71
		ROS	7.1%	5.0%	▲2.1%

その他

単位：億円

		16年度 実績	17年度 業績見通し	差 (伸長率)
PC	売上高	1,918	1,700	▲218 (▲11%)
	営業損益	▲5	▲90	▲85
	ROS	▲0.3%	▲5.3%	▲5.0%
映像	売上高	616	500	▲116 (▲19%)
	営業損益	▲129	▲90	39
	ROS	▲20.9%	▲18.0%	2.9%

TOSHIBA

Leading Innovation >>>